

復活の異動願(届)

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり願出(届出)いたします。

返還誓約書の機構送付
(学校記入項目、送付済の場合は☑。返還誓約書を送付していない場合、本願(届)を作成できません。)

学校名		学籍番号	届出年月日	20	年	月	日
学部・学科 (課程・研究科)		フリガナ	生年月日	西暦	年	月	日
奨学生番号 ※併用貸与の者はそれぞれの奨学生番号を記入		氏名(自署)	[奨学生の自署必須]				
①	②						

休止(通常の休学)からの復活

復活の開始 学籍上の日付
(大学院のみ選択可能) (卒業に合わせる)

大学院以外の者で記入があった場合は無効とし、「学籍上の日付」として処理します。なお、大学院の者で未選択で提出された場合は「卒業に合わせる」として処理します。

※休学日は当初(直近の振込日以降)の休学日を記入してください

休学日 20 年 月 日
 復学日 20 年 月 日
 卒業期 20 年 月 見込

卒業期が延長しない(休学期間分と等しく貸与義務が及びない)場合、休学期間分よりも貸与義務が削減されることについて了承している場合は✓してください。
 (例) 休止期間12か月に対し、卒業期が12か月ではなく6か月だけ延びる「12か月-6か月になる」=「6か月削減」

休止(留学)からの復活

復活の開始 学籍上の日付
(大学院のみ選択可能) (卒業に合わせる)

大学院以外の者で記入があった場合は無効とし、「学籍上の日付」として処理します。なお、大学院の者で未選択で提出された場合は「卒業に合わせる」として処理します。

復活希望年月※ 20 年 月

※ 未記入の場合は、当該身分が終了する日の翌月(月の初日はその月)を復活希望月とみなします。
 ※ 海外留学支援制度・官民協働海外留学支援制度の受給者、及び学籍上の身分が「留学」又は「在学」の者が遡及復活を希望する場合のみ記入してください。その他の記入は無効となります。

卒業期 20 年 月 見込

休止(長期欠席)からの復活

復活年月 20 年 月

卒業期 20 年 月 見込

※ 卒業予定期が長期欠席前と比べて延期している場合は復活不可。

留学情報

① 留学時身分 休学 留学 在学
 期間 年 月 日
 ※1 年 月 日
 ※2 ~ 年 月 日

② 留学時身分 休学 留学 在学
 期間 年 月 日
 ※1 年 月 日
 ※2 ~ 年 月 日

国籍情報
 海外留学支援制度(協定派遣)
 官民協働海外留学支援制度
 受給期間 年 月 ~ 年 月

※3 留学奨学金継続願提出 有 無

※1 留学中に複数の身分が存在する場合のみ②を記入
 ※2 「休学」を選択した場合は休学期間、「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異動する期間を記入し、実際に渡航する期間は記入しない。「在学」を選択した場合は学校で把握する留学期間を記入する。
 ※3 この2つ以外は「私費」として取扱い、記入不要。

休止(長期履修生の貸与先送り)からの復活

復活年月 20 年 月 ※1

卒業期 20 年 月 見込 ※2

※1 復活年月は奨学生本人が希望する任意の年月。
 ※2 「休止」時点から卒業期が延期していないことを確認。

休止時において振込超過がある場合、超過返戻後に「奨学金返戻用振込用紙(振込金受取書)」コピーとともに(ホチキス留め)、「休止の異動願」を機構に提出してください。

学校番号	106005	区分	0160	担当者名	
電話	06-6850-5037				

上記記載のとおり相違ないことを証明いたします。

(学校証明) 20 年 月 日

学校名 大阪大学

関係課長※ 教育・学生支援部学生・キャリア支援課長 山口 淳志

連絡事項記入欄

機構使用欄	第一種	第二種
最終振込年月	年 月	年 月
振込超過 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	か月	か月
要戻戻額	円	円

※記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務・奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校・金融機関・文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

復活の異動願(届) 【記入例】復活(休学)の場合

復活の異動願(届) 【記入例】復活(留学)の場合

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり願出(届出)いたします。

返還誓約書の機構送付

(学校記入項目、送付済の場合は☑。返還誓約書を送付していない場合、本願(届)を作成できません。)

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり願出(届出)いたします。

返還誓約書の機構送付

(学校記入項目、送付済の場合は☑。返還誓約書を送付していない場合、本願(届)を作成できません。)

学校名	学籍号	届出年月日	「記入日」
学部・学科 (課程・研究科)	フリガナ	生年 西暦 年月日	年 月 日
奨学生番号 ※併用貸与の者はそれぞれの奨学生番号を記入	氏名 (自署)	学年	年
①	②	奨学生の自署が必要	

学校名	学籍	届出年月日	「記入日」
学部・学科 (課程・研究科)	フリガナ	生年 西暦 年月日	年 月 日
奨学生番号 ※併用貸与の者はそれぞれの奨学生番号を記入	氏名 (自署)	学年	年
①	②	奨学生の自署が必要	

休止(通常の休学)からの復活

学生本人記入

復活の開始 (大学院のみ選択可能) 学籍上の日付 (卒業に合わせる)

※休学日は当初(直近の振込日以降)の休学日を記入してください

休学日 20 年 月 日

復学日 20 年 月 日

卒業期 20 年 月 見込

卒業期が延長しない(休学期間分と等しく貸与期間が延びない)場合、休学期間分より貸与期間が削減されることについて了承している場合は√してください。

(例) 休学期間12か月に対し、卒業期が12か月ではなく6か月だけ延びる「12か月-6か月になる」=「6か月削減」

学部生は「学籍上の日付」のみ選択可能

大学院生は、希望する復活の開始日を選択してください。

復学と同時に復活を希望する場合は、「学籍上の日付」に☑、卒業期から遡って復活を希望する場合は「卒業に合わせる」を☑

※奨学金の残貸与月数と卒業までの在籍月数が同じの場合は、どちらを選択しても同じです。

※生命機能研究科の修士課程相当に在籍中の第一種奨学生が「12ヶ月または24ヶ月以外」の休学後に復活する場合は、「卒業に合わせる」の選択が必要です。

休止(長期欠席)からの復活

学校記入

復活年月 20 年 月

卒業期 20 年 月 見込

※ 卒業予定期が長期欠席前と比べて延期している場合は復活不可。

学校記入

② 留学時身分 休学 留学 在学

※1 期間 年 月 日

※2 ~ 年 月 日

国費情報

海外留学支援制度(協定派遣)

官民協働海外留学支援制度

※3 受給期間 ~ 年 月

留学奨学金継続願提出 有 無

休止(長期履修生の貸与先送り)からの復活

学校記入

復活年月 20 年 月 ※1

卒業期 20 年 月 見込 ※2

※1 復活年月は奨学生本人が希望する任意の年月。

※2 「休止」時点から卒業期が延期していないことを確認。

学校記入

復活年月 20 年 月 ※1

卒業期 20 年 月 見込 ※2

※1 復活年月は奨学生本人が希望する任意の年月。

※2 「休止」時点から卒業期が延期していないことを確認。

休止時において振込超過がある場合、超過返戻後に「奨学金返戻用振込用紙(振込金受取書)」コピーとともに(ホチキス留め)、「休止の異動願」を機構に提出してください。

学校番号	106005	区分	01	担当者名
電話	06-6850-5037			

上記記載のとおり相違ないことを証明いたします。

(学校証明) 20 年 月 日

学校名 大阪大学

関係課長※ 教育・学生支援部 学生・キャリア支援課長 山口淳志

最終振込年月	第一種	第二種
振込超過 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	年 月 日	年 月 日
要返戻額	円	

※1 留学中に複数の身分が存在する場合のみ②を記入

「休学」を選択した場合は休学期間、「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異動する期間を記入し、実際に渡航する期間は記入しない。「在学」を選択した場合は学校で把握する留学期間を記入する。

※3 この2つ以外は「私費」として取扱い、記入不要。

連絡事項記入欄

学校証明) 20 年 月 日

学校名 大阪大学

関係課長※ 教育・学生支援部 学生・キャリア支援課 山口淳志

最終振込年月	第一種	第二種
振込超過 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	年 月 日	年 月 日
要返戻額	円	

提出先:異動・補導係/郵送の要否:必要/スカラAC入力:不要 (24.4)

【復活(留学)とは】

- ・「奨学金：休止中」に留学し、復学(留学終了)に伴い「奨学金：再開(復活)」を希望する方が該当します。
- 例1：学籍「休学」にて留学し、奨学金は「休止」
- 例2：学籍「留学」にて留学したが、奨学金は「休止」
- ・渡航前に豊中学生センターへメールで報告をしなかった場合は、「休止(通常の休学)からの復活」になることがあります。

学部生は「学籍上の日付」のみ選択可能

大学院生は、希望する復活の開始日を選択してください。

復学と同時に復活を希望する場合は、「学籍上の日付」に☑、卒業期から遡って復活を希望する場合は「卒業に合わせる」を☑

※奨学金の残貸与月数と卒業までの在籍月数が同じの場合は、どちらを選択しても同じです。

※生命機能研究科の修士課程相当に在籍中の第一種奨学生が「12ヶ月または24ヶ月以外」の休学後に復活する場合は、「卒業に合わせる」の選択が必要です。

学校記入

卒業期 20 年

復活年月 20 年 月 ※1

卒業期 20 年 月 見込 ※2

※1 復活年月は奨学生本人が希望する任意の年月。

※2 「休止」時点から卒業期が延期していないことを確認。

休止時において振込超過がある場合、超過返戻後に「奨学金返戻用振込用紙(振込金受取書)」コピーとともに(ホチキス留め)、「休止の異動願」を機構に提出してください。

学校番号	106005	区分	01	担当者名
電話	06-6850-5037			

上記記載のとおり相違ないことを証明いたします。

(学校証明) 20 年 月 日

学校名 大阪大学

関係課長※ 教育・学生支援部 学生・キャリア支援課 山口淳志

最終振込年月	第一種	第二種
振込超過 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	年 月 日	年 月 日
要返戻額	円	

提出先:異動・補導係/郵送の要否:必要/スカラAC入力:不要 (24.4)

休止(留学)からの復活

学生本人記入

復活の開始 (大学院のみ選択可能) 学籍上の日付 (卒業に合わせる)

復活希望年月※ 20 年 月

※ 未記入の場合は、当該身分が終了する日の翌月(月の初日はその月)を復活希望月とみなします。

※ 海外留学支援制度・官民協働海外留学支援制度の受給者、及び学籍上の身分が「留学」又は「在学」の者が選及復活を希望する場合のみ記入してください。その他の記入は無効となります。

卒業期 20 年 月 見込

学校記入

① 留学時身分 休学 留学 在学

※1 期間 年 月 日

※2 ~ 年 月 日

国名

② 留学時身分 休学 留学 在学

※1 期間 年 月 日

※2 ~ 年 月 日

国費情報

海外留学支援制度(協定派遣)

官民協働海外留学支援制度

※3 受給期間 ~ 年 月

留学奨学金継続願提出 有 無

※1 留学中に複数の身分が存在する場合のみ②を記入

「休学」を選択した場合は休学期間、「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異動する期間を記入し、実際に渡航する期間は記入しない。「在学」を選択した場合は学校で把握する留学期間を記入する。

※3 この2つ以外は「私費」として取扱い、記入不要。

連絡事項記入欄

学校証明) 20 年 月 日

学校名 大阪大学

関係課長※ 教育・学生支援部 学生・キャリア支援課 山口淳志

最終振込年月	第一種	第二種
振込超過 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	年 月 日	年 月 日
要返戻額	円	

提出先:異動・補導係/郵送の要否:必要/スカラAC入力:不要 (24.4)